

躍進を続ける
チームの強さに迫る!しずおか市町対抗駅伝菊川市チーム
監督・コーチインタビュー

毎年12月に開催される静岡県市町対抗駅伝競走大会。今年は12月5日土曜日に第27回大会が開催されます。第24回大会11位、第25回大会9位、そして昨年の第26回大会は8位と、順位・タイムともに躍進を続ける菊川市チーム。市民の期待が高まるなか、強さの源泉と今後の課題について、北原監督と宮城昂祈コーチにお話を伺いました。

〈今年の菊川市チームの雰囲気や特徴を教えてください〉

北原監督 昨年一生懸命練習した選手が大勢残ってくれたことに加え、コーチを含めた新しいメンバーも数多く参加してくれています。皆さん非常にやる気があり、結束力も強く、とても良い雰囲気の中で集中して練習ができています。



〈良い雰囲気を作り出し、全員の気持ちを一つにする秘訣は何ですか〉

北原監督 今年のチーム目標である「考え、学び合い、共に成長し続ける菊川市チーム」に全員の心を集中させることです。また、なかなか練習に集まらない高校生や一般選手の多くは、小学生時代から地元のスポーツ少年団やアプロス菊川に所属しており、当時の指導者が現在の駅伝コーチも兼ねています。長年培われた深い信頼関係があるからこそ、離れていても全員が心をついてできています。

〈駅伝という競技を通して、子どもたちや若い世代に伝えたいことは何ですか〉

北原監督 駅伝はチーム競技です。仲間と競い合い、励まし合い、共に高め合うなかで、走力だけでなく人間としても大きく成長してほしいと願っています。こどもの頃に指導を受けた選手が、成長して今度は指導者として地域に恩返しをしています。

委員 好循環。地域に根ざしたスポーツのSDGsですね。



菊川市チーム・掛川市チームの合同練習